

東京都 インフルエンザ情報

東京都健康安全研究センター

再び流行警報発出中

第 5 週(1 月 26 日～2 月 1 日)のトピックス

- ・ 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告数は 11,149 人、**定点当たり 26.67 人**
(昨年同時期 定点当たり 3.79 人)
- ・ インフルエンザ様疾患による集団発生事例の報告数は 397 件
- ・ 全国における定点医療機関からの患者報告数は 114,291 人、定点当たり 30.03 人

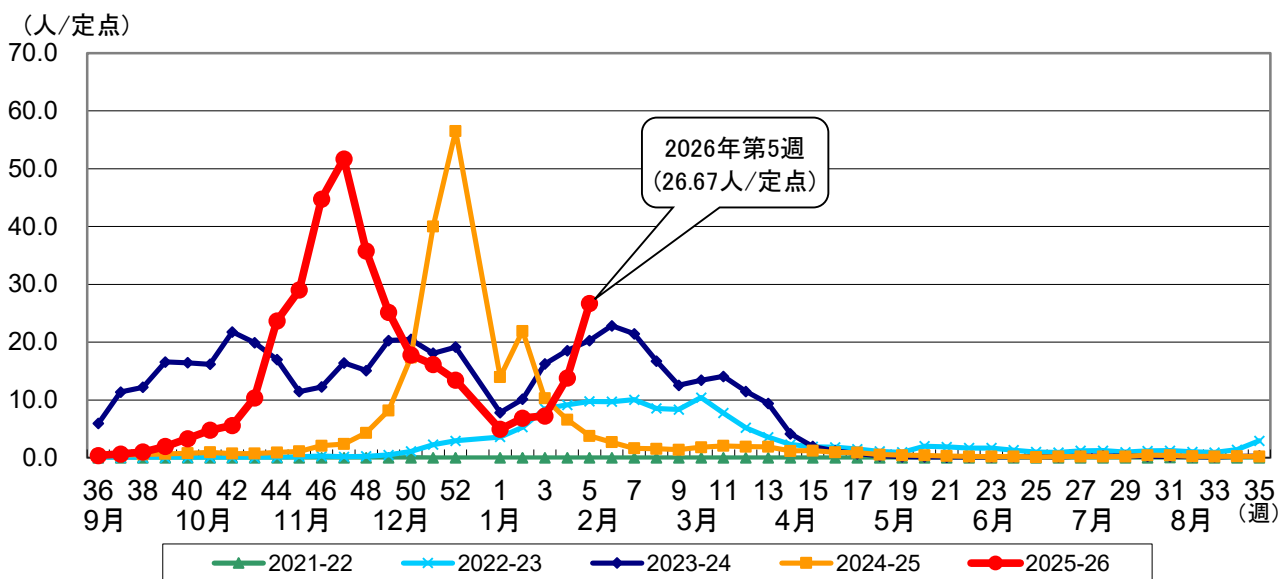


図 1. 東京都内における定点当たり患者報告数の年別推移

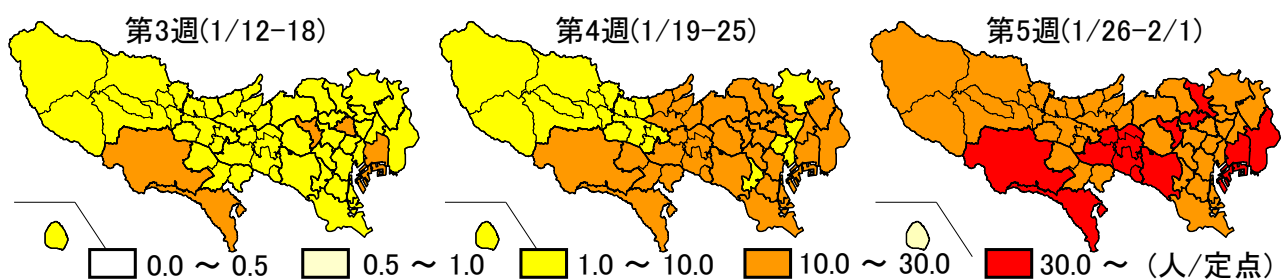


図2. 都内の保健所別定点当たり患者報告数(第3週～第5週)

1. 定点医療機関からの患者報告数

【東京都】 定点医療機関(急性呼吸器感染症定点)*からの患者報告数は 11,149 人、定点当たり 26.67 人(前週: 13.83 人/定点)でした。定点当たり患者報告数が「流行警報基準」*である 30.00 人を上回った保健所は、都

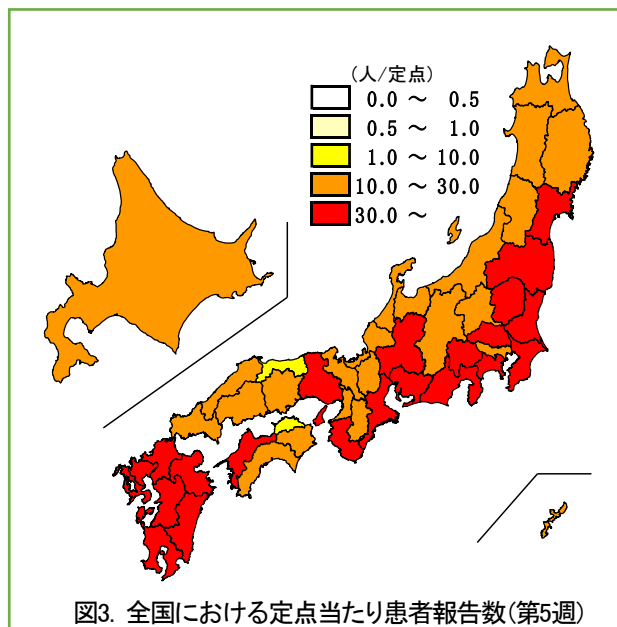
内 31 保健所のうち 9 保健所でした(図 2、表 1)。これら 9 保健所管内の人口合計が東京都全体の 37.16%と、30%を上回り、都の警報基準*を超えました。このため東京都では 2 月 5 日に“都内のインフルエンザ、再び警報基準

を超える”を報道発表し、インフルエンザの予防、拡大防止対策等について、都民の皆様への注意喚起を行いました。

表1. 都内の保健所別定点当たり患者報告数

保健所名	定点当たりの患者報告数(人/定点)	保健所名	定点当たりの患者報告数(人/定点)
	第5週(1/26-2/1)		第5週(1/26-2/1)
千代田	11.50	北区	31.55
中央区	19.00	荒川区	23.43
みなと	23.56	板橋区	23.75
新宿区	14.25	練馬区	28.52
文京	26.86	足立	17.50
台東	28.00	葛飾区	22.08
墨田区	17.25	江戸川	33.58
江東区	33.00	八王子市	48.78
品川区	19.00	町田市	51.31
目黒区	16.88	西多摩	10.86
大田区	20.71	南多摩	22.36
世田谷	30.16	多摩立川	13.90
渋谷区	29.71	多摩府中	32.36
中野区	43.60	多摩小平	26.78
杉並	25.88	島しょ	1.00
池袋	33.25	都全体	26.67

また、第5週に報告があった418定点医療機関のうち98定点(患者報告3,165人分)は、患者数とともに感染したウイルス型についても報告がありました。この報告によると、B型が約9割でした。



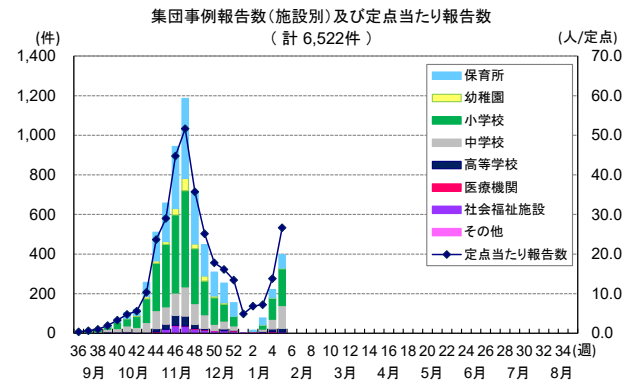
【全国】 患者報告数は、114,291人、定点当たり30.03人(前週:16.64人/定点)でした。

定点当たりの患者報告数は、22県で30.00人を上回っています(図3)。また、東京都と隣接する4県の定点当たりの患者報告数は、

山梨県が46.97人、千葉県が46.08人、埼玉県が40.68人、神奈川県が36.56人でした。

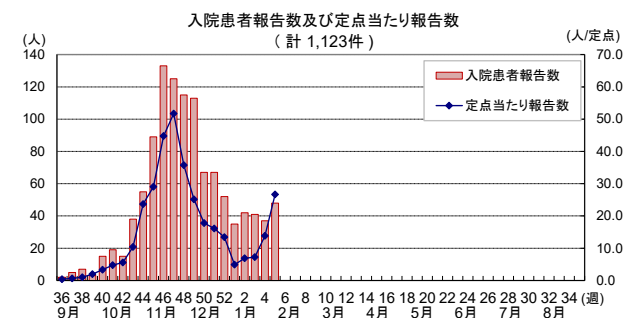
2. インフルエンザ様疾患の集団発生報告数

集団発生報告は397件ありました。発生報告がされた施設の内訳は、小学校185件、中学校115件、保育所68件、高等学校18件、社会福祉施設5件、幼稚園4件、その他2件でした(図4)。



3. インフルエンザによる入院患者報告数

定点医療機関(基幹定点)**からインフルエンザによる入院患者報告は、48件ありました(図5)。



4. ウイルス検出状況

【東京都】 第36週から第2週までに病原体定点医療機関***で採取された1,032検体について検査を行った結果、インフルエンザウイルスが432件検出されています。検出されたウイルスの内訳は、AH3亜型が394件、B型(全てVictoria系統)が28件、AH1pdm09が10件でした(表2、図6)。

今シーズンに検出されたインフルエンザウイルス B 型 (Victoria 系統) について遺伝子系統樹解析を行った結果、12 月中旬以降の流行株はワクチン株と同じクレードに属していました。また、昨シーズンの検出株とは異なるクラスターに属しているものが多くみられました (図 8 : 最終頁)。

表2. 定点医療機関により採取された検体の検査結果

検体採取週	検体数	陽性数	インフルエンザウイルス				
			AH1pdm09	AH3亜型	B型 Victoria 系統	B型 Yamagata 系統	B型 系統 不明
36週(9/1-7)	41	1		1			
37週(9/8-14)	50	4		3	1		
38週(9/15-21)	55	8	2	5	1		
39週(9/22-28)	35	2		2			
40週(9/29-10/5)	57	14	2	12			
41週(10/6-12)	53	11		11			
42週(10/13-19)	58	16		14	2		
43週(10/20-26)	64	25	2	21	2		
44週(10/27-11/2)	65	27		26	1		
45週(11/3-9)	63	35	1	34			
46週(11/10-16)	60	29	1	27	1		
47週(11/17-23)	73	51	1	49	1		
48週(11/24-30)	61	41		41			
49週(12/1-7)	71	38		37	1		
50週(12/8-14)	68	37		37			
51週(12/15-21)	61	40		34	6		
52週(12/22-28)	54	33	1	27	5		
1週(12/29-1/4)	3	1		1			
2週(1/5-11)	40	19		12	7		
3週(1/12-18)		検査中					
4週(1/19-25)		検査中					
合 計	1032	432	10	394	28	0	0

・インフルエンザ情報発行時点で検査結果が判明したものを掲載している。
・その他、ワクチンタイプ(経鼻弱毒生ワクチン由来タイプ)が6件検出されている。

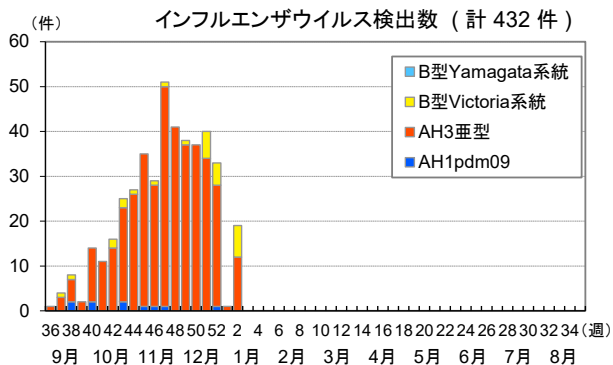


図6. 定点医療機関から搬入された検体における
インフルエンザウイルス検出状況

【全 国】国立健康危機管理研究機構発行の病原微生物検出情報(IASR)等によると、45都道府県からAH3亜型、33都道府県からB型、28都道府県からAH1pdm09の検出が報告されています(図7)。

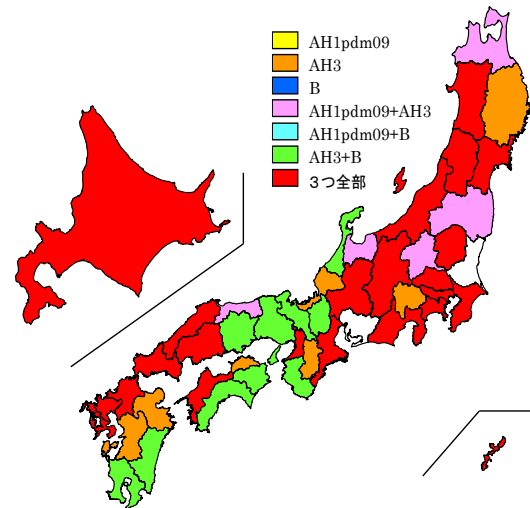


図7. 都道府県別のウイルス型別検出状況
(2025/9/1 ~ 2026/2/4)

＊ 定点医療機関(急性呼吸器感染症定点)

インフルエンザ等の急性呼吸器感染症の患者数を把握するために指定された、小児科および内科の医療機関 419 か所

＊＊ 定点医療機関(基幹定点) インフルエンザによる入院患者数を把握するために指定された、主に内科の医療機関 25 か所

*** 病原体定点医療機関 ウイルスの検出状況を把握するために指定された、定点医療機関 41 か所

※ 注意報・警報基準 インフルエンザの定点当たり患者報告数が10.00人/週を上回った場合には注意報が発出されます。30.00人/週を上回った場合には警報が発出され、10.00人/週を下回るまでの状態を「警報レベル」としています。

都においては、上記の基準に加えて、基準を超えた保健所の管内人口の合計が、東京都の人口全体の30%を超えた時には、広域的に流行が発生・継続しているとして、注意報・警報が発出されます。

◆ 東京都インフルエンザ情報 ◆
編集・発行

東京都健康安全研究センター
企画調整部健康危機管理情報課
〒169-0073

東京都新宿区百人町3-24-1

TEL: 03-3363-3213

FAX: 03-5332-7365

S1153803@section.metro.tokyo.jp

<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>

インフルエンザ B型Victoria系統の系統樹 (HA領域)

2024/2025シーズン検出株
2024年9月～2025年3月搬入検体
2025年4月～2025年8月搬入検体

2025/2026シーズン検出株
2025年9月～2026年1月搬入検体
(●：2025年12月中旬～)

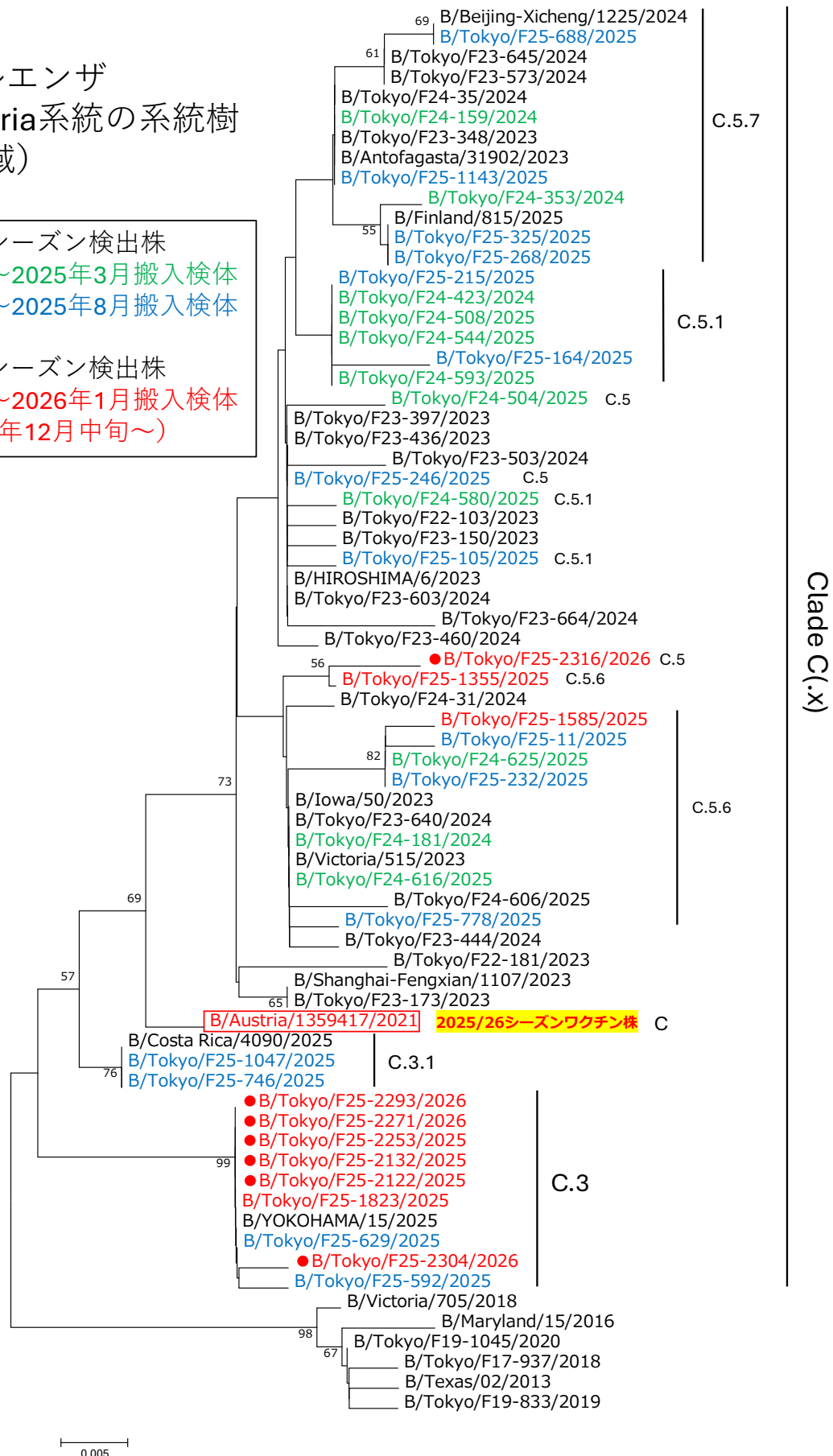


図 8. インフルエンザウイルスB型(Victoria系統)のHA遺伝子系統樹